

税金の重要性と課題

愛南町立御荘中学校

三年 小川 優 香

スーパーに行くと、原価が三百円ぐらいのものが、消費税がかかると三十円くらい高くなっています。電化製品など高額なものになると、消費税だけで数万単位になります。なぜそのような高い消費税を払わないといけないのか疑問でした。でも、税の作文を書くにあたって調べてみると、私たちが豊かで安心して暮らしをするためには、必要なものだということが分かりました。

例えば、身近なものだと、病院に行ったときに、病院代も薬代もかかりません。それは税金のおかげです。教科書や給食、冷房のきいた教室で授業を受けれることも、私の通学路に草が生えて通りずらくなっていたときに、草を刈って道路整備をしてくれたのも税金のおかげでした。

他にも、年金や介護も税金でした。自分が高齢者になったときに、とても助かる制度だと思いました。

このような税金は、主に所得税や法人税、消費税が占めていることを知りました。所得税とは、働く人それぞれにかかる税金のことで、会社員は毎月の給料にのじた所得税を支払います。法人税とは、会社が支払う税金のことで、会社は毎年かせいだお金を計算し、そのお金にあわせて法人税を支払います。消費税とは、国民が一番多く納めている税金で、商品を買ったり、サービスをうけたりしたときに、本体

の値段とは別に支払うお金です。他にも、固定資産税や住民税、相続税などたくさんの税金があることが分かりました。自分や親がたくさんの税金を払っていることに驚きました。そして、全ての物に税金がかかっていることから税金の重要性や納めることの大切さを感じました。

でも、税金には課題があることも知りました。その課題と大きく関係しているのが社会保障です。社会保障とは、私たちが安心して生活していくために必要な公的サービスのことで、医療や年金、介護、福祉などのしくみのことです。日本では深刻な少子高齢化が進んでいて、社会保障の費用が増え、費用を負担する働き手が減っているという問題があります。二〇〇〇年は三・六人で六十五歳以上の一人の費用を負担していたのが、二〇五〇年には一・三人で一人を負担していくと予想されています。若者の負担がどんどん大きくなり、私たちが老後の安定した生活や健康的で文化的な社会を実現するためには、大きな費用が必要であることを知りました。大人になってより多くの税金を納めるようになる中で、少子高齢化は大きな問題であることに気付きました。

このような大きな問題がある中で、どうしたら高齢者から子どもまで国民みんなが安心して生活することができるのかや、そのための大きな費用をどう負担すべきなのかは、今の私にはまだ分かりません。なのでこれから、もっと税について知っていき、自分にできることを考えていきたいです。私は職場体験で保育所へ行きました。私は小さい子どもが好きで、将来は保育士になりたいと思っています。子どもたちが楽しく伸び伸びと過ごせる地域、そして、高齢者が安心して暮らせる地域をつくり、その地域を支える大人に私もなっていきたいです。